

特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミュニティ 設立趣旨書

1 趣 旨

(1) オールしずおかベストコミュニティ創設の経緯

ア 障害のある人の工賃水準向上のための取組指針

静岡県では、平成 20 年 3 月に「障害のある人の工賃水準向上のための取組指針」が策定されました。この取組指針は、「作業所利用者とその家族、職員、企業、地域、関係者全員が『幸せ』になるユニバーサル社会」の実現を目標に掲げ、福祉、行政だけでなく、ボランティアやNPO、企業、地域住民等を含む、すべての社会構成員が連携・協働して、地域全体で障害のある人を支えるシステムを作ることで、障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる社会を目指すものです。

そして、取組指針では、こうした社会を実現するためには、「福祉と産業界がもっと近づくことが重要」とあるという考え方の下、両者が互いを理解し、結びつきを深めるために福祉と産業界をつなぐ機関の創設が提案されました。

現在の作業所は、「利用者の障害が多様であり全員が取り組める仕事がない」とか、「下請条件の悪さ」などの課題を抱えるとともに、作業所職員の人的な限界もあり、企業側が何を求めているか、作業所で行っている仕事が企業のニーズに対してどのような貢献ができるのかを十分に把握することが困難な状況にあります。

一方、企業側にとっても、求める製品を作ってくれる作業所があるのか、どのくらいの生産が可能なのかなど、作業所側の情報を把握することは容易ではありません。

こうしたことから、現在のように企業と作業所の直接取引のみに頼るのではなく、その中間に、作業所側・企業側双方のニーズを受け止め、実現可能な形に組み替えたり、より良いものに発展させていく「トランスファー（変換）機能」としての機関が必要であると考えました。

また、業務の受発注においてだけでなく、作業所同士が連携した製品の生産・販売の推進、ショッピングセンター等を活用した大きな販路の開拓、企業と作業所が協働した新たな地域貢献事業の展開など、1対1の関係を超えて発展させていくことも期待されます。

こうした両者の結びつきを深めるために、機関創設に向けた取組みを始めました。

イ 障害のある人の就労支援の強化

平成 18 年度に施行された障害者自立支援法は、障害のある人が普通に暮らせる「自立と共生」の地域社会づくりを目指しています。

そのための重要な柱の一つが就労支援の強化であり、就労継続支援や就労移行支援といった就労支援事業が創設され、「働きたい」障害のある人が就労する場を確保し、自立して生活するための支援が進められています。

障害のある人が地域で自立し、普通に暮らせる社会を実現するためには、福祉や行政だけでなく、企業や地域に住む人々を含め、社会全体が支えあう社会づくりが必要です。

こうした社会的要請も、機関創設の背景となっています。

(2) 基本理念

【基本理念】

◎障害のある人のはたらく笑顔で、福祉と企業、地域の心をつなぎます。

この基本理念に向かって、オールしずおかベストコミュニティは、

【ミッション】

- ・障害のある人が、自立を目指して、働くことの喜びを感じ、社会の中で大切な役割を担っていくことを支援します。
- ・障害のある人とその家族が、安心して希望を託すことができる地域づくりを支援します。
- ・作業所及びその職員が、障害のある人の自立を最大限に引き出すための技能・能力を高め、障害のある人とその家族から信頼され、意欲を持って役割を発揮できるように支援します。
- ・企業が、障害のある人や作業所と相互理解や協働を通じて、共に元気になることを支援します。
- ・地域が、そこで働き暮らす障害のある人と、共に喜び、成長していく地域づくりを支援します。
- ・産業界、行政機関、教育機関、地域などのネットワークを構築する事で、障害のある人と、関わる全ての人の幸福を創造する事を支援します。

オールしずおかベストコミュニティが、最終的に目指すものは、障害のある人、その家族、それを支援する職員、企業や地域といった関係者全員を「幸せ」にするユニバーサル社会の実現です。

人間にとっての「幸せ」とは人の役に立つこと、人から必要とされることであると考えれば、働くことによってこれを実現することができます。社会の中でそれぞれの役割を担うことで生きる喜びを得ることができるのは、障害の有無に関係ありません。「働くこと」は「生きること」と深く結びついています。

障害のある人であっても、自分の住む地域において、自分の考えに従って、働き、生活することができる。そしてサポートする周囲の人々は、一方向でない、共に支えあう社会を構成しそこに生きる仲間の姿を見ることで成熟し、「幸せ」を得ることができるものと思われまます。

オールしずおかベストコミュニティの役割は、「障害のある人のはたらく笑顔の魅力を伝える」ことで、障害のある人を中心に関係者全員の心をつないでいくことです。そして、障害のある人が笑顔で働き、そのことが関係者を元気にする、そうした共存、共栄のコーディネートをしていくことで作業所や、福祉、行政だけでなく、ボランティアやNPO、企業、地域住民等を含むすべての社会構成員が連携・協働して、地域全体で障害のある人を支えるシステムを作りあげることが目標です。

そこで、オールしずおかベストコミュニティの基本理念を、「**障害のある人のはたらく笑顔で、福祉と企業、地域の心をつなぎます**」として掲げました。また、各関係者にどのような幸せを提供できるかといった視点から、オールしずおかベストコミュニティのミッションを構成しました。

2 申請に至るまでの経緯

平成 21 年 4 月 検討会設置

平成 21 年 4 月～10 月 検討会開催（計 6 回）

平成 21 年 10 月 発起人会開催

平成 21 年 11 月 設立総会開催

平成 21 年 11 月 20 日

特定非営利活動法人オールしずおかベストコミュニティ
設立代表者

坂本 光司